

メインプログラム Main Program

基調講演 創造性が都市を変える

9月4日 [金] 13:30~15:00 | 関内ホール [大ホール]

ピーター・ホール
Peter Hall
ロンドン大学バートレット校教授 | イギリス

パネル・ディスカッション 1 社会システムとその変革

9月4日 [金] 15:30~18:00 | 関内ホール [大ホール]

コーディネーター——加藤 種男
〔財〕横浜市芸術文化振興財団 専務理事

終わりの見えない経済の低迷、成長の時代から縮退の時代へと、都市をとりまく環境は大きく変化した。こうした時代における都市のビジョンを語る以前に社会システムそのものがどうあるべきか真剣に語る必要があるだろう。創造性のある社会を構築していくために必要とされる社会システムについて議論する。

○パネリスト——
ピーター・ホール
基調講演に引き続き
モンテ・カセム
立命館アジア太平洋大学学長

青木 保
文化人類学者 | 文化庁長官

伊東 豊雄
建築家 | (株)伊東豊雄建築設計事務所 代表取締役

パネル・ディスカッション 2 [首長会議] 都市のみらいを語る

9月6日 [日] 10:00~12:00 | 関内ホール [大ホール]

コーディネーター——北澤 猛 [東京大学大学院教授]

○パネリスト——
中田 宏
横浜市長
ジェラルド・コロ
Gérard COLLOMB リヨン市長
ペトラ・ロート
Petra Roth フランクフルト市長
カク・リュウヒン
郝耀斌 Hau Lung-pin 台北市長

篠田 昭
新潟市長
山出 保
金沢市長

*パネリストについては調整中です。

講演者 | パネリスト Panelists Profile



ピーター・ホール
Peter Hall

「世界都市」概念の専門家 | イギリス | 1932年生まれ。ロンドン大学バートレット校 [The Bartlett School of Planning] で教鞭をとっており、首都圏計画や「世界都市」の概念の専門家として知られ、世界都市に関する多数の著作がある。「文明における都市、文化、技術革新、都市秩序」の大修により、現代の創造都市研究を切り拓いた第一人者。「文化と産業の創造性」を基軸に人類の歴史を代表的な都市の歴史から分析している。



モンテ・カセム
Monte Cassim

スリランカ出身の研究者。マレーシア経済学兼終身会員、学校法人立命館副学長、立命館アジア太平洋大学学長



青木 保

文化人類学者・文化庁長官。東京大学教授、政策研究大学院大学教員などを歴経。2007年4月文化庁長官。



伊東 豊雄

1965年東京大学工学部卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ「金獅子賞」、立業国建築家協会 (RIBA) ロイヤルゴールドメダル他受賞。

分科会テーマ Subcommittee Theme

I [I].....クリエイティビティと市民・アート

I-1 学びのカタチを創造する

○コーディネーター——松尾 子水樹 [NPO法人 STSポット横浜 理事]
芸術が果たす教育的な意義を考えると、学校と芸術機関との官民パートナーシップの拡充などの政策は、いま世界的な潮流となって動きつつある。そのなかで、私たちは、地域や学校で、文化資源の創造的活用ができる社会をめざし、学ぶことが楽しく、豊かで、満足のいくものであるような「学び」の新しいカタチを探している。地域にある事物を、人々が学習活動や楽しみのために用いることができる資源に変換するための、創造性を持った仕組みづくりとはどのようなものなのか探り、いま求められている新しい「学び」のカタチを議論したい。

I-2 アートイニシアティブの未来を語る—創造界隈事業の総括と展望

○コーディネーター——吉本 光宏 [創造都市横浜推進委員会 委員長 | (株)ニッセイ基礎研究所]
横浜市の最初の創造都市政策として2006年にスタートした「創造界隈の形成」事業は、BankART 1929やZAIM、急な坂スタジオ、黄金町パザールなど、行政とアートNPO等とのパートナーシップによって、クリエイティブシティ・ヨコハマの核プロジェクト、アイコンとして大きな成果をあげている。こうした取り組みを、今後どのように持続・発展させていくのか、その成果はどのように市民に還元されるのか、国内外のオルタナティブなアートの主権者が集い、課題を共有しながら、アートイニシアティブの未来を語り、国際的なネットワークの構築と協働プロジェクトの立ち上げを目指す。

II [II].....縮退の時代の都市戦略とクリエイティビティ

II-1 都市の文化とイメージ戦略

○コーディネーター——白土 謙二 [(株)電通 執行役員]
欧州文化首都の成功に見られるように、新しい発想や文化の力によって都市のイメージを変革し、流入人口の増加によって都市が再生される事例が増えつつある。縮退の時代、都市間競争の時代において、都市のイメージ戦略が見直され、また、欧米都市におけるシビックプライド醸成の取り組みにみられるように、都市のイメージ変革は都市への愛着、新たな市民意識の醸成にもつながっている。ここでは、世界の事例に学びつつ、ヨコハマを題材に都市のイメージ戦略について議論する。

II-2 地域の産業とデザインの可能性

○コーディネーター——橋田 洋子 [デザインディレクター | Citrus主宰]
産業構造の転換期において、創造的な産業は新たな都市経済のけん引役となりうるのか、デザインや技術革新がもたらす地域の産業イノベーションとは何か、必要とされる要件は何であるのか。創造性を原資とする産業の可能性とその未来について議論する。

III [III].....クリエイティビティと都市ビジョン

III-1 コミュニティ再生とクリエイティビティ

○コーディネーター——岡部 友彦 [コトラボ合同会社 代表]
縮退時代の都市再生において、インナーシティの課題を解決し、地区を再生していくことは極めて重要な課題である。これらの地区再生にあたっては、コンパクトなコミュニティー経済への転換や、地域文化の再生などが不可欠であり、文化への重点的投資や住民参加によるエリアマネジメントなど、これまでとは異なった手法が必要とされている。ここではインナーシティ問題の解決と地域経済や地域文化の可能性、それを支える仕組みについて議論する。

III-2 文化の空間戦略

○コーディネーター——鈴木 伸治 [横浜市立大学 ヨコハマ起業戦略コース 准教授]
成長の時代から、縮退、成熟の時代への転換期を迎えつつある現在、新たな都市構造や産業構造に適応した都市ビジョンがもたらされている。近年の港湾都市のウォーターフロント開発で、これまでの港湾地区や工場地帯を土地利用転換し、文化施設や新たな産業空間の複合ゾーンと転換している例がらもわかるように、新たな都市のビジョンには明確な文化の空間戦略が必要とされている。本分科会では、これまでとは大きく異なりつつある都市のビジョンにおける文化の空間戦略について議論する。

会議構成 Schedule

日時	種別	内容	会場
9月4日 [金] 会議1日目			
13:30~13:45	主催者挨拶		関内ホール(大ホール)
13:45~15:00	基調講演	ピーター・ホール 創造性が都市を変える	
15:30~18:00	パネルディスカッション 1	社会システムとその変革	
18:30~20:00	参加者交流会 [参加費2,000円 任意ですがぜひご参加ください]	ヨコハマ・クリエイティブ シティ・センター(1Fホール)	
9月5日 [土] 会議2日目			
10:00~13:00	分科会 Session I	分科会 I-1 分科会 II-1 分科会 III-1	横浜市開港記念会館講堂 ヨコハマ・クリエイティブ シティ・センター (1Fホール) 3Fスペース)
14:30~17:30	分科会 Session II	分科会 I-2 分科会 II-2 分科会 III-2	
9月6日 [日] 会議3日目			
10:00~12:00	パネルディスカッション 2	都市のみらいを語る [首長会議]	関内ホール(大ホール)
13:30~16:00	全体会	会議宣言 会議閉会	

*会議中は日一英の同時通訳を行います。

分科会パネリスト Subcommittee Panelists

I-1

学びのカタチを創造する

リンディ・ジュベール
Lindy Joubert
ユネスコ世界的芸術研究所 所長
メルボルン大学建築学科 上級講師
マリアンナ・カジャンティ
Marianna Kajantie
ヘルシンキ市文化局
文化政策ディレクター
石ノ森 幸子
CANVAS 副理事長
左京 泰明
シブヤ大学 学長

I-2

アートイニシアティブの
未来を語る

コリン・ゴ
Colin Goh
日通会議室チーフエグゼクティブ
The Arts House ジェネラル
マネージャー [シンガポール]
マーガレット・シュー
Margaret Shiu
パンブー・カーテン・スタジオ [台北]
ディレクター
大谷 嶺
NPO法人 DANCE BOX代表
野田 恒雄
TRAVELERS PROJECT
[札幌2023年と 企画・運営] 主宰
十 創造界隈 各代表

*スピーカーは変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

II-1

都市の文化とイメージ戦略

マイク・ローリンソン
Mike Rawlinson
City ID [プリストル]
デザインディレクター
伊藤 香織
東京理科大学理工学専攻建築学科 准教授
橋本 元
株式会社原典広告社
都市生活研究所 所長
中川 憲造
デザインディレクター
NDCグラフィックス 代表
前内 道彦
クリエイティブディレクター
馬とロック 主宰

II-2

地域の産業とデザインの可能性

ターニャ・ミュールハンス
Tanja Muhlhans
ベルリン市経済技術女性局文化経済
イニシアティブコーディネーター
大和田 順子
LBA [ロバース・ビジネス・アライアンス]
共同代表
NPO環境立 理事
佐々木 雅幸
大阪市立大学大学院
創造都市研究科 教授

*スピーカーは変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

III-1

コミュニティ再生とクリエイティビティ

イ・ウネ
Lee, Eun-Ae
韓国「共に働く財団」事務局長
ラッキー・チュエトリ
Lucky Chhetri
3 Sisters Adventure Trekking
[ネパール] エグゼクティブディレクター
マット・ピーコック
Matt Peacock
STREETWISE OPERA [イギリス]
チーフエグゼクティブ
トッド・ポーター
Todd Porter
TEDxTokyo/ジャーナルイノベーター
西山志保
山梨大学工学部総合研究所 准教授

III-2

文化の空間戦略

ケース・クリスチャン
Kees Christiaanse
スイス連邦工科大学
チューリッヒ校 [ETH] 建築学科 教授
リン・チュン・チエ
Lin Chung Chieh
林義傑 Lin Chung Chieh
都市デザイナー | 台北市都市發展局
北澤 猛
東京大学大学院
新領域創成科学研究科 教授
ジョン・ヒュン・リー
李政賢 Jung Hyung Lee
韓国中央大学 准教授
北山 恒
横浜国立大学大学院 Y-GSA
[Yokohama Graduate School of Architecture] 教授
瀧口 純子
シリコンバレー在住。
フリーランスの編集者・ジャーナリスト